Press Release
報道関係者各位

平成30年9月26日（水）
アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
NPO法人粋なまちづくり倶楽部

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2018

プログラム詳細決定！

まち全体を舞台に日本の様々な伝統芸能を楽しむフェスティバル!

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）とNPO法人粋なまちづくり倶楽部は、伝統と先端が融合する神楽坂で、まち全体を舞台にした「**神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018**」を平成30（2018）年11月10日（土）＜前夜祭＞、11日（日）＜本祭＞に開催します。

この「**神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018**」は、幅広い世代や海外からの観光客を含む多くの方々に、江戸の趣きが残る神楽坂の魅力と合わせて、日本を代表する様々な伝統芸能を、気軽に見て、聞いて、触れていただけるフェスティバルです。6回目となる今年も、地元住民の方々と共につくり上げる「**まちと人が一体になった祭り**」として実施いたします。

神楽坂は、江戸・東京の文化とパリの洗練された雰囲気が調和・融合するまちとして今、人気を集めています。若手からベテランまで、神楽坂に縁（ゆかり）があり、第一線で活躍する様々なジャンルの伝統芸能のアーティストが集結。路地を歩きながら演奏する「新内流し」や、芸者さんとの「お座敷遊び」など、神楽坂ならではの企画をはじめ、初登場の端唄や民謡など、多彩な伝統芸能を、人々の集まる路上や神社仏閣、公園などでご観覧いただけます。

情緒ある街並みの中に伝統文化が息づく街・神楽坂で、日本の伝統芸能を楽しむことができる祝祭の2日間。伝統芸能の普及とさらなる街の振興を目的として、今や全国から注目を集めるイベントとなっています。

【開催概要】※詳細は次頁以降をご参照ください。

タイトル：「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018」
開催日時：前夜祭　平成30（2018）年11月10日（土）15:00～19:40頃
本　祭　平成30（2018）年11月11日（日）11:30～18:00頃　＊両日共に雨天決行・荒天中止
実施会場：神楽坂エリア（毘沙門天善國寺、赤城神社、東京神楽坂組合・見番、神楽坂通りエリア内路上、歴史的名所旧跡、THEGLEE、縁香園、離島キッチン、神楽坂モノガタリ　ほか）
参加形式：無料（「覗いてみようお座敷遊び」のみ有料・要事前申込）
主　　催：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
NPO法人粋なまちづくり倶楽部
助成・協力：東京都
後　　援：新宿区/一般社団法人 新宿観光振興協会
協　　力：東京神楽坂組合/毘沙門天善國寺/赤城神社/株式会社粋まち/神楽坂通り商店会/神楽坂商店街振興組合/江戸東京ガイドの会/光照寺/圓福寺/東京都消費生活総合センター/若宮町自治会/東京理科大学/法政大学/あずさ監査法人/第一勧業信用組合 神楽坂支店/スターバックス コーヒー 神楽坂下店/ちかけん/マインド
制　　作：有限会社古典空間　**運営**：NPO 法人アークシップ　**広報**：有限会社サザンカンパニー
お問合せ：神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018事務局（古典空間内）　担当：小野木、佐藤
TEL：03-5478-8265（平日10～18時）FAX：03-5478-8267 メール：contact@kaguramachi.jp
公式ウェブサイト：http://kaguramachi.jp/
※新宿フィールドミュージアム参加企画

■報道関係の方のお問合せ先
神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018事務局（古典空間内）　担当：小野木、深澤
TEL：03-5478-8255　FAX：03-5478-8267　E-Mail：pr@kaguramachi.jp

■本リリースに関するお問合せ先
アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）　広報担当：糸園、圓城寺
TEL：03-6256-8432 / E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

【実施内容】

++

-INDEX-

1.前夜祭-Eve-

- 店めぐり・伝統芸能ライブ
- 神楽坂路上界隈「新内流し」※本祭でも実施
- 神楽坂路上界隈「城端曳山祭（じょうはなひきやままつり）＜庵唄（いおりうた）＞」※本祭でも実施

2.本祭-Main Festival-

- 神楽坂楽座～講釈場
- 神楽坂芸能めぐり 街角ライブ
- 覗いてみようお座敷遊び
- 赤城神社 夕暮れライブ
- 神楽坂タイムスリップ（スタンプラリー／歴史ガイド／こども広場）

++

1.前夜祭 ―*Eve*―

多くの味わい深い文化を生み出した「神楽坂の夜」も神楽坂の魅力の一つです。風情の増す時間帯に、石畳や黒塀のある路地をそぞろ歩き、洒落たお店で味わう伝統芸能……夜ゆえに味わえる神楽坂の魅力を楽しんでいただけます。

店めぐり・伝統芸能ライブ

神楽坂ゆかりの伝統芸能演者が、今話題のレストランやカフェ、ライブハウスで行うミニライブ。今年は講談や落語パフォーマンスなどの話芸や、東京の民謡、俗曲、地唄などの演奏。そして今回は端唄が初登場。演者によるわかりやすい解説トークと共に楽しむことができます。

日　時）平成 30 年 11 月 10 日（土）　*雨天決行

場所・時間・出演）

縁香園　16:00～16:45

あんみ通（民謡・津軽三味線）／桧山うめ吉（俗曲）

離島キッチン　16:00～16:45

シリル・コピーニ（落語パフォーマンス）

THEGLEE

17:00～17:40　岡村慎太郎（地唄・箏曲）

19:00～19:40　本條満留ひで×本條秀英二（端唄）

神楽坂モノガタリ　19:00～19:40

神田山緑（講談）

参加料）鑑賞は無料（飲食代は別途）

開演 1 時間前より各会場で入場整理券を配布します。

神楽坂路上界隈　新内流し（両日実施）

石畳の路地に迷い込むと聞こえてくる三味線の音色。偶然のように出逢う「流しの芸能」。地元神楽坂在住で新内節の人間国宝・鶴賀若狭掾(つるがわかさのじょう)の一門による、粋な姿の「新内流し」が神楽坂の路地や横丁を流します。はかなくも物悲しい調子に、静かに耳を傾けてみてください。

日　時） 平成 30 年 11 月 10 日（土）16:30 頃～17:30 頃
18:30 頃～19:30 頃
11 日（日）12:30 頃～13:00 頃
14:00 頃～14:30 頃
15:30 頃～16:00 頃

場　所） 神楽坂界隈（寺内公園からスタート）

参加料） 無料

出　演） 鶴賀若狭掾(つるがわかさのじょう)一門（鶴賀伊勢吉 他）

神楽坂路上界隈　城端曳山祭(じょうはなひきやままつり)〈庵唄(いおりうた)〉（両日実施）

富山県南砺市の城端に持ち込まれた江戸端唄は、その地の城端曳山祭（じょうはなひきやままつり）で「庵唄」として 300 年もの長い間唄い継がれ、独特の文化として生き残りました。その「庵唄」が江戸へ里帰り。城端の若連中が曳山祭の雰囲気そのままに、神楽坂の裏路地を三味線と笛、唄声と共に練り歩きます。

日　時） 平成 30 年 11 月 10 日（土）15:00 頃～16:00 頃／17:30 頃～18:30 頃
11 日（日）12:00 頃～12:40 頃／13:10 頃～13:50 頃／14:20 頃～15:00 頃

場　所） 神楽坂界隈（毘沙門天善國寺からスタート）

参加料） 無料

出　演） 宝槌会(ほうてつかい)（城端曳山祭(じょうはなひきやままつり)・庵唄(いおりうた)）

ほんまつり
2. 本　祭 －*Main Festival*－

歩行者天国となる神楽坂通りは夜とは違った顔を見せます。往来する人々は若者や家族連れ、外国人などで賑わいます。神楽坂の２大ランドマークとなる毘沙門天善國寺と赤城神社をはじめ、神楽坂通りや石畳の路地、公園まで、神楽坂のまち全体が伝統芸能の舞台へと変化します。

神楽坂楽座～講釈場

その昔、人々が集う神社仏閣の境内などに設けられた講釈場からは、様々な情報が発信されました。その講釈場を毘沙門天善國寺境内に再現。若手講釈師による講談のほか、琵琶語り、浄瑠璃(義太夫節)、浪曲など伝統の語り芸を披露します。初めて触れる皆様にも、わかりやすい言葉、演目でお楽しみいただけます。

日　時） 平成 30 年 11 月 11 日（日）11:30～16:30 頃
場　所） 毘沙門天善國寺境内特設ステージ
参加料） 無料
出　演） 竹本越孝×鶴澤寛也（義太夫節）
神田鯉栄（講談）
琵琶デュオ（薩摩琵琶）
玉川奈々福×沢村豊子（浪曲）
司会進行） 石井要吉（助六店主）

神楽坂芸能めぐり 街角ライブ

神楽坂のメインストリートに３か所のライブスポットが出現。神楽坂通りのどこにいても出逢える、伝統芸能の多彩なパフォーマンス。息をのむ技巧あり、聴きほれる名演奏あり。伝統とモダンが融合したユニットから、江戸の粋を今に伝える実演家まで様々なジャンルが登場。世代を超えてお楽しみいただけます。

日　時） 平成 30 年 11 月 11 日（日）12:10～16:30 頃
場　所） 神楽坂界隈（「志満金」前、神楽坂上交差点前、パークリュクス神楽坂前ポケットパークの３か所）
参加料） 無料
出　演） 若獅子会（邦楽囃子）
雅楽トリオ ゆらら（雅楽）
セ三味ストリート（津軽三味線パフォーマンス）
丸一仙翁社中（江戸太神楽）
大多和正樹（和太鼓）×小山豊（津軽三味線）
五二三（伊藤江里菜（箏）×辻本好美（尺八））
尺八カルテットＧＭＱ（尺八）
弓連者（胡弓）
藤山大樹（手妻）

覗いてみようお座敷遊び

日本固有のおもてなしの一つに、宴席における芸者衆とのお座敷遊びがあります。普段は立ち入ることができない芸者衆のお稽古場「見番」を会場に、神楽坂芸者衆による唄や三味線、踊りを鑑賞した後、お客さまも一緒に“お座敷ゲーム”を体験できます。英語による通訳もあり、外国の方にもわかりやすく、気軽に楽しんでいただけます。

日　時） 平成 30 年 11 月 11 日(日)
第 1 部 13:00～14:00、第 2 部 14:30～15:30 の 2 回公演
（内容は各部同じ）

場　所） 東京神楽坂組合・見番

出　演） 神楽坂芸者衆
立方：桃子、小夏、𠮷よ乃
地方：眞由美（唄）、夏栄・櫻子（三味線）、
由みゑ（鳴物）

参加料） チケット 2,500 円

※要事前申込（各回 40 名）

※当日英語パンフレット配布、英語逐次通訳あり

※チケット取扱　Confetti（カンフェティ）　http://www.confetti-web.com/

10 月 1 日（月）10:00～販売開始　TEL:0120-240-540（フリーダイヤル、平日 10：00～18：00 *オペレーター対応）

赤城神社 夕暮れライブ

江戸時代からの名所であり、夕景の美しいスポットとしても知られる赤城神社。そのモダンで美しい神楽殿で、江戸太神楽が賑々しく、吟詠は厳かに。そして長唄三味線と邦楽囃子による迫力と疾走感溢れるライブを展開します。そしてフィナーレは、出演者・来場者・スタッフが一体となり、祭りを締めくくります。

日　時） 平成 30 年 11 月 11 日（日）17:00～18:00 頃

場　所） 赤城神社 神楽殿

参加料） 無料

出　演） 丸一仙翁社中（江戸太神楽）
荒井龍凰（吟詠）×水島結子（薩摩琵琶）
芳村伊十冶郎連中（長唄三味線）×
若獅子会（邦楽囃子）

司会進行） シリル・コピーニ

神楽坂タイムスリップ（スタンプラリー／歴史ガイド／こども広場）

神楽坂いにしえの名所旧跡７か所をめぐるスタンプラリー、そして８か所の歴史スポットでは神楽坂をよく知る「歴史ガイド」によるワンポイント案内があります。そして白銀公園では、昔ながらの紙芝居や江戸糸あやつり人形などの大道芸を実演。積み木遊びコーナーもあり、お子様は言うまでもなく、大人も懐かしく楽しむことができます。スタンプを７つすべて集めた参加者には、記念品として数量限定のオリジナル手拭をプレゼント。

日　時） 平成30年11月11日（日）11:30～16:00
（記念品交換は16:30まで　※数量限定）

場　所） **スタンプラリー**
毘沙門天善國寺、光照寺、圓福寺、
赤城神社、寺内公園、軽子坂上、若宮公園

歴史ガイド
上記（赤城神社を除く）のほか、
白銀公園、芸者新道

こども広場
白銀公園、寺内公園（大道芸のみ）

参加料） 無料

出　演） 渋谷画劇団（紙芝居）
上條充（江戸糸あやつり人形）

※各ポイントでスタンプシート付きラリーマップを配付
※英語版マップ及び各ポイントでの英語通訳対応あり

●諸事情により内容を変更、または中止する場合があります。また雨天時の開催場所等はウェブサイト及び当日会場でご案内いたします。

【神楽坂の魅力】

再開発から変貌した東京において、神楽坂は江戸時代の地割りがほぼそのままに、石畳の路地などが残されてきました。神楽坂花柳界の発展とともに、芸事を重んじる歌舞音曲の師匠たちは神楽坂周辺に稽古場をもち、伝統芸能を継承してきました。また戦前にはいくつもの演芸場があり、話芸なども盛んに行われていました。戦後、神楽坂周辺には「パリの佇まいを彷彿させる」としてフランス人をはじめとした外国人が多く住み、従来の日本文化と調和・融合し独特の風情を生み出しています。昨今ではNPO法人粋なまちづくり倶楽部を中心として、若い世代のボランティア（集団）や商店会、企業、各店舗などと共に、伝統芸能をはじめとした大小さまざまな文化イベントを数多く実施しています。多くの文化資産に溢れた神楽坂は、現在では国内外からも大きく注目を集める街となっています。

■取材に関するお問合せ先
神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2018 事務局（古典空間内）　担当：小野木、深澤
TEL：03-5478-8255　FAX：03-5478-8267　E-Mail：pr@kaguramachi.jp